

# トリア大学留学体験記 11月提出分

L244039 法文学部法経学科 2 回生 時山怜花

## 入国

私がドイツに到着したのは、2025年9月17日の夕方でした。成田空港から直行便でフランクフルト空港に到着し、その日は中央駅周辺で宿泊して、翌日にトリアへ移動しました。初めての海外渡航だったため、移動の負担を減らそうと直行便を選びましたが、片道25万円と高額なため、費用を抑えたい場合は、乗り継ぎ便を利用することを強くお勧めします。

入国審査では、大学の入学許可証や寮の住所のコピーを提示し、つたないドイツ語と英語でなんとか切り抜けられました。ドイツ語が不十分であっても、英語で最低限のやりとりができれば問題ないかと思います。

## 9月の集中講義について

トリア大学では、ドイツ語にあまり自信がない人のために、9月中旬から約3週間、ドイツ語の集中講義が開講されます。1番初級のA1.1の授業は、英語でドイツ語を学ぶことができるため、初心者でも安心して受講可能だと思います。期間は月曜から金曜日の午前9時から午後1時まで、学習ペースはやや早めに感じました。個人的な感想ですが、ドイツ語や海外の暮らしに不安がある方は、この集中講義を受けることをおすすめします。友人づくりのきっかけになり、現地での生活にも早く慣れることができます。

## 授業について

授業は10月の上旬から始まります。ドイツ語の習得を目的とした授業から、専門分野に関する科目まで、幅広い内容の授業が開講されています。

私は日本で法律を専攻していることもあり、聴講生として労働法やドイツの法制史を受講しています。ドイツの大学の制度は比較的柔軟なため、担当教員に相談すれば受講が認められることもあると思います。授業は1コマ90分で、現在私が現在取っているドイツ語の授業はA2.2レベルですが、すべてドイツ語で行われるため絶賛苦戦中です。

## 日々の食事について

大学には、Mensa（学生食堂）のほか、軽食を販売するお店やパン屋さんなど、いくつかの飲食施設があります。ただ、Mensaについては個性的な料理が多いです。

外食はだいぶ値が張るので、基本自炊をするのがいいと思います。

おすすめのスーパーはLidlというスーパーです。現地の人に聞いてもLidlが一番安いそうなので、間違いはないかと思います。私は普段、パスタやパン、じゃがいもなど中心に、簡単な食事で済ませています。

## 1 か月過ごしての感想

個人的に、トリアは田舎すぎず都会すぎず、とても暮らしやすい街だと思いました。駅周辺へ行けば、生活に必要なものは揃います。トリア大学を選んでよかったと感じる一番の理由は、日本語を学ぼうとするドイツ人学生がとても多いということです。大学には日本語学科もあることで、生活の面で協力してもらいながら、共にお互いの言語を学び合っています。

以上からドイツ語を学びたい人にとって、トリアは最適な環境だと感じます。最初の1 か月は本当にあっという間でした。後悔のないようにしたいと過ごしたいと思います。



ルクセンブルクのヴァイアン城



シュニッツェル



寮の近くの道 いい散歩日和でした